訂正版

Let's try! 今すぐできる、自然エネルギー！

太陽光パネルの設置はできなくても手軽に自然エネルギーを利用できるグッズをご紹介します

その1 ソーラークッカー

ソーラークッカーは、太陽光を反射板で集中させその熱だけで料理できるエコ調理機です。カレーやポトフなどの煮込み料理、炊飯、目玉焼きやポップコーンなど色々調理できる優れもの。
ミニ・ソーラークッカーは誰でも簡単に作ることができるので、ぜひ挑戦して、太陽エネルギーのすごさを実感してみてください！

パラボラ型ソーラークッカー

簡易式ミニ・ソーラークッカーの作り方

＜用意するもの＞●アルミ箔（家庭用の油よけアルミ板が最適）●厚紙
※お芋を焼く場合、500mlの空き缶、2Lのペットボトルが必要(保温用)

①厚紙にアルミ箔を貼る　②組み立て易いように折り目や切込みをいれる　③組み立てて完成！

空き缶にお芋を入れて焼いてみました
温度は2時間で98℃に！
（やけどに注意！）
焼き芋ほくほく～
※詳しい作り方は関町リサイクルセンターまで

遊びに来てね！

関町リサイクルセンターではミニ・ソーラークッカー工作や、パラボラ型を使ったお料理教室も開催しています

その2 ソーラー充電器

ポケットサイズの太陽光発電装置。携帯電話用の充電器や充電池用の小型太陽光パネルなど多種市販されています。

その3 ソーラーパワーガーデンライト

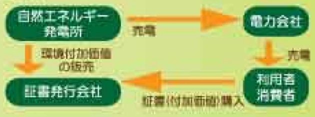
難しい配線は一切不要。電気代ゼロで暗闇を照らします。殺虫ライトとしても使えるものなど機能も色々。

自然エネルギーを応援しよう！

自然エネルギーの応援のしかたはいろいろあります。
家族や友人とどんなことができるか、わいわい話し合ってみたら面白いアイデアが出るかも？
こんな応援もできますよ！

「グリーン電力証書」で応援！

太陽、風、地熱、バイオマスなどで発電した電力に環境付加価値を加えて証書化して発行したものです。この証書を購入することによって、間接的に自然エネルギーの普及に貢献することができます。



「グリーンファンド」で応援！

自然エネルギーのようなグリーンエネルギー事業に投資する次世代ファンドです。代表的な事例として、市民の共同出資による市民共同発電事業があります。太陽光発電、小型水力発電、バイオガスプラントなどを、みんなのチカラで設置します。

[訂正とお詫び]初版に誤りがありました。本内容は訂正版になります。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

ご自宅に太陽光発電などの設置を検討されている方へ

住宅用太陽光発電システムなどの補助金制度の概要

①国（経済産業省）太陽光発電システム
太陽光発電システムを導入する1世帯につき
1kwあたり48,000円（上限は10kw未満）
交付条件：kw60万円（税抜き）以下のシステムを設置する
補助金申請提出期限：2011年12月22日必着
お問合せ窓口：一般社団法人太陽光発電協会　太陽光発電普及拡大センター（J-PEC）電話：043-239-6200

②東京都　太陽光発電システム
太陽光発電システムの出力1kwあたり10万円
上限は100万円（本制度の実施期間は2013年3月31日まで）
その他、太陽熱利用の温水器にも制度あり
お問合せ窓口：東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）電話：03-5388-3472

③練馬区　地球温暖化対策住宅用設備設置補助制度
2011年度は、太陽光発電設備、エコキュート、エコウィル、エネファームを2012年1月31日までに設置した区民を対象とする
設備種類の要件・補助金額等、詳細については、区環境課地球温暖化対策係にお問合わせください　電話：5984-4706
※国、都、区の補助金は併用が可能ですが、詳細については各機関にお問合わせください

<編集後記>東日本大震災、原発事故後の市民のエネルギー問題に対する関心の高まりを受け、創刊号では自然エネルギーをテーマとしました。意識して歩いてみると、街中のいたるところに太陽光パネルを発見することができます。折りしも取材期間中に「再生可能エネルギー買取法」が成立しました。今後のさらなる普及が楽しみです。
本誌では、ねりまの環境情報を発信していきます。誌名に込めた想いを実現できるように頑張りますので、これからも「ゆずりは」をよろしくお願いいたします。（猩）

<編集・発行・お問合わせ：練馬区立リサイクルセンタープロジェクト>
●豊玉リサイクルセンター　〒176-0011　練馬区豊玉上2丁目22番15号
電話：5999-3196　FAX：5999-2888　e-mail：toyotama-rc@career-rise.co.jp
●春日町リサイクルセンター　〒179-0074　練馬区春日町2丁目14番16号
電話：3926-2501　FAX：3926-2505　e-mail：kasugacho-rc@career-rise.co.jp
●関町リサイクルセンター　〒177-0051　練馬区関町北1丁目7番14号
電話：3594-5351　FAX：3594-5389　e-mail：seki-rc@career-rise.co.jp

ねりま環境・リサイクル情報誌
ゆずりは
発行：練馬区立リサイクルセンタープロジェクト
発行月：平成23年（2011年）10月
vol.1

訂正版

ねりまの 特集 自然エネルギー

光和小学校太陽光発電設備（石神井）

次世代へつなぐエネルギー

太陽の光や熱、風によるエネルギー、波力、地熱、バイオマス、小型水力などで作るエネルギーが自然エネルギーです。これまでのエネルギーは限りある化石燃料を輸入に頼って利用してきましたが、自然のチカラを利用したエネルギーは無くなる心配がないことから、最近は特に関心が持たれるようになりました。
練馬区内でも化石エネルギーの代替エネルギーとして、自然エネルギーを多くの施設や家庭でも使うようになってきました。

昔からおなじみ 自然エネルギー

陽が昇れば起きて働き、暮れれば眠る。昔の人たちはお天道様と一緒のスローライフ。太陽の力を知り、その恵みを暮らしのすみずみにまで取り入れていました。もちろん太陽だけでなく、風や水、冷気など全ての自然現象も忘れることはありませんでした。
先人の知恵として「自然の恵み」は沢山あり、今も私たちの暮らしに役立っています。

誌名「ゆずりは」への想い・・・

ふるさと文化館（石神井）

「ゆずりは」は高さが10メートルにもなる大きな木です。新葉が出てから古い葉が自然に落ちることから、親が成長した子どもに後を譲ることにたとえ、縁起を祝って正月飾りに使われてきました。
「ゆずりは」の葉が更新するように、次の世代へ夢と希望をつなげていきたい。この誌名には、そんな想いがこめられています。

訂正版

ねりまの自然エネルギーマップ

自然エネルギー活用の現場を求めて街を歩いてみたところ、「緑」という自然の恵みを見直すことになりました。太陽光発電などの技術を活用した自然エネルギーと「緑」という天然のエネルギー。
この二つのエネルギーが共存するのが練馬の特徴といえます。

自然の恵みを感じながら、街にある自然エネルギーを見つける散策に出かけてみませんか？

太陽光発電設備設置施設（　）内は定格出力値
定格出力はJISで定められた一定の条件下で算出された値です
実際の発電能力は、日射量、周辺温度、設置方位等に依存します
（目安として定格出力の70%）
※一般家庭での標準的な定格出力は3kwほど。

お宅の自然エネルギー拝見！

個人宅での太陽光発電・太陽熱利用の普及が進んでいます。今年8月に成立した「再生可能エネルギー買取法」も今後の普及促進の後押しとなりそうです
この法案に先駆け、すでに設置しているご家庭を訪問してみました

質問① きっかけは？
質問② 結果は？

東大泉のNさん

①環境問題に関心があり、温暖化防止に何かできることはないか考えていました。二世帯住宅で同居家族は六人。電気料金も高く、削減の必要を感じていたので設備を決めました。

②環境面では大変満足しています。東京電力への売電量も月平均六千円くらいに安定してきたのでまあまあ満足しています。

向山のNさん

①もともと興味がありました。今回は都や区の助成制度があり十年から十五年で回収が見込めるので踏み切りました。

②子どもたちが節電に興味を持ち始めたのが大きいです。またパネル自体に断熱効果があり、二階がとても涼しくなりました。三度くらいは違うんじゃないでしょうか。

春日町のHさん

①スタジオがあるので電気の使用量が多く、省エネを考えているときに売り込みがあり、それを機会に導入しました。大気汚染が気になっていたこともきっかけです。

②設置後は使用量や発電量を気にするようになりました。最高気温が三十二度の曇りの日でも、二十七%の電力自給ができることがわかりました。

下石神井のSさん

①以前から温暖化問題に関心がありました。今回は助成制度があることや十年ほどで元が取れると業者から説明を受けたので決断しました。

②家族みんなが節電を意識するようになりました。夜間に電力を使うなど経済効率性も考えるようになりました。全体で光熱費は半分近く減ったようです。売電もしていて、売電は二万円を超え、冬でも一万円を少し切るくらい。設備にかかったローンを売電で賄えます。

大泉学園町のGさん

①単純に温暖化に関心があり、個人で何か少しでも役に立てることを考えていました。また、原発依存の面から考えても自然エネルギーは重要だと思い設置しました。

②だいぶ節電を意識するようになりました。食器洗い機や洗濯機など、夜にでもできることは夜にするようになりました。売電は月に一万五千円ほどなので、それも節電意識につながっています。設置費用には二百二十万円ほどかかりましたが、このままいけば十年未満で元が取れそうです。

早宮のOさん

①政府のエネルギー政策にのったということですね。興味を持ったところにセールスがまわってきたので詳しく話を聞き悪いものではないと判断しました。国、都、区それぞれから助成金がでるということも魅力でした。

②以前よりもエコロジーとかリサイクルへの関心が高まりました。また光熱費が大幅に削減されました。多い時は七十五%ほど自給できています。自然エネルギーを利用することは環境にも財布にも優しいと実感しました。

関町南のMさん（太陽熱温水器）

①新築の際に勧められ設置しました。

②主にお風呂で使用していますが、余ったお湯は洗濯にもまわしています。晴れの日はとても熱くなっているため、水で薄めてから使っています。曇りの日でも水道水より温かく、その時はガス釜で追いだきして使っています。設置は三十万円ほどでしたので十分に元はとれています。

※どのお宅からも「設備業者は慎重に選ぶことが大切です」とのアドバイスをいただきました。